

詳細計画(各回または週の具体的な授業内容、目標など)		
回/週	授業内容	備考
1	中島清隆・山崎憲治 【オリエンテーション「ESD×起業とは何か？」】 講義展開のオリエンテーション。この講座の目的と課題を明示する。 担当する講師の紹介、達成課題と参考資料を示す。	10/11
2	中村哲雄 前葛巻町長 【「酪農」と「林業」の「生業」「産業」】 葛巻町の主力産業である生業としての酪農と林業についてお話しいただく。	10/18
3	田村満 前なつかしい未来創造株式会社代表取締役社長／株式会社高田自動車学校代表取締役会長／岩手県中小企業家同友会代表理事 【震災後の中小企業の新たな取り組み】 「地域の企業をつぶさない、雇用を確保する」を合言葉に中小企業の新たな取り組みと可能性を現場から報告。	10/25
4	新沼茂幸 ヤマニ醤油株式会社代表取締役 【イノベーションのススメ】 イノベーションをおこす。起業の豊かさとその可能性を、自らの経験から探る。	11/8
5	中村哲雄 前葛巻町長 【新しい学びを求めて】 牧場が学校になる？ 動物や自然と直接触れ合うなかから、新たな学びが展開する。	11/15
6	八重樫真純 農家・元北上市議会副議長 【農業と食糧、環境保全の可能性】 農民から見た岩手と日本の農業。環境保全と農業の発展。	11/22
7	岩淵宣輝 特定非営利活動法人太平洋戦史館会長理事 【平和について考える】 「忘るまじ、語り継ごう、国際交流」を柱とする NPO 法人太平洋戦史館活動を続ける中から、学生に訴える。	11/29
8	山崎憲治 【平和について考える】	12/6
9	工藤朋 株式会社わしの尾代表取締役 【酒づくりから地域をとらえなおす】 日本酒の持つ豊かさと、地産地消の可能性。発酵がつくる食と文化。	12/13
10	相模貞一 田野畑村教育長・宮古小学校元校長 【田野畑から、小さな村で進む教育改革】 震災を経て学力のありかたを考える。 宮古第一小学校での震災経験を踏まえ、田野畑村教育長として現場から地域の教育の可能性を提起。	12/20
11	畠山昌彦 田老町漁業協同組合総務部長 【田老の海をどう活かすか、その可能性を探る】 被災地漁業の本格復興に向けた取り組み。 地域の産業としての漁業の復興に問われているもの。	2024/1/10

回/週	授業内容	備考
12	畠山重篤 特定非営利活動法人森は海の恋人理事長 京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授・牡蠣漁師 【森は海の恋人】 「森は海の恋人」著者・漁師・京大教授。山・流域・海をトータルにとらえる。	2024/1/17
13	山崎憲治 【地元学から ESD をとらえなおす】	2024/1/24
14	中島清隆・山崎憲治 【レポート作成準備とグループ・ダイアログ】 Sustainability の実現に向けた起業プラン案を作成し、複数のグループ内で意見交換を進め、レポート作成の準備を行う。	2024/1/31
その他	講師・講演内容・講義の順番など各回の内容は変更する可能性がある。 変更が分かり次第、講義内や webclass タイムラインで伝える。 他の受講生の学習を妨げると判断した場合、注意し、退室を促すことがある。	